

加古川平成ロータリークラブ

会長 鈴木 勝博
幹事 山本 裕一
広報小委員長 高田 裕美
2680地区ガバナー 矢坂 誠徳

例会日/毎水曜日 12:30~13:30・例会場/加古川商工会議所会館 4F
事務局/加古川市加古川町溝之口 800 加古川商工会議所会館 5F
Tel. 079-422-8000 FAX. 079-422-8100
ホームページ <http://www.k-heisei-rc.com/> Eメール heiseirc@basil.ocn.ne.jp



2024~2025年度 RI 会長 ステファニー A.アーチャ

No.1591 April 4、2025

例会プログラム

第24回(4月 4日)

卓話

「地区組織・定款の話」

地区規定審議委員会委員長
林 知宏氏

例会当番 宮宅

次週例会プログラム

(4月 18日)

「次年度小委員会」

次年度会長・幹事

次週例会当番 山本

前週例会報告

◇ ゲスト

◇ ビジター



◇ 出席率 前週 会員数 14名 出席数 9名 出席免除 1名 欠席数 4名
◇ 前々週 会員数 14名 出席数 6名 出席免除 2名 欠席数 6名

◇ 欠席者 4名 網本 柴田 松野 山本

◇ メークアップ 2025年2月21日 第5回補助金小委員会 榊
2025年2月23日 2025-26年度2025年地区チーム・ラーニングセミナー 榊



★ 観桜移動例会 於;京懐石美濃吉本店 竹茂楼

① 各RC例会変更のお知らせ

- 高砂RC 4月11日(金)→高砂青松RCとの合同献血例会 於；高砂市文化会館駐車場
4月18日(金)→移動例会 於；「霧の恵」トマト栽培所
- 高砂青松RC 4月9日(水)→4月11日(金)11：00～15：30 高砂RCとの合同献血例会
4月16日(水)→休会【定款第7条第1節(d)による】
4月30日(水)→休会【定款第7条第1節(d)による】
5月7日(水)→休会【定款第7条第1節(d)による】
- 加古川RC 4月29日(火)→例会取りやめ〔定款第7条第1節(d)(1)〕
5月6日(火)→例会取りやめ〔定款第7条第1節(d)(1)〕
5月27日(火)→19：00～20：30 於：Bar 1986 KAKOGAWA
- 加古川中央RC 4月24日(木)→夜例会 午後6時30分～
5月1日(木)→休会【定款第7条第1節(d)】
5月29日(木)→夜例会 午後6時30分～
6月19日(木)→最終例会 午後6時～ 於；加古川プラザホテル2階
- 明石RC 5月1日(木)→「休会」<定款第7条第1節(d)により>
5月8日(木)→「休会」<定款第7条第1節(d)により>

② 回覧します

- ・(公財)加古川市国際交流協会より令和6年度加古川市青少年海外派遣報告書
- ・(公財)ひょうご子どもと家庭福祉財団より近況のご報告
- ・熊本平成ロータリークラブ週報
- ・第9回日台ロータリー親善会議札幌大会本会議二次受付のご案内

③ Boxに月信、Rの友、ハイライトよねやま vol. 300を入れております。

④ 地区より林会員に会員維持増強委員会委員、鳥井会員に国際奉仕委員会 VTT 小委員会委員の委嘱状が届いております。

⑤ 5月24日(土)開催の姉妹クラブ合同例会に出席の方の登録費を受付で集金いたしますので、ご参加の方はよろしく願いいたします。

⑥ 次週11日(金)は、例会取消〔定款第7条第1節(d)〕となっております。お間違いのないようお願いいたします。また、次々週18日(金)の例会は、「次年度小委員会」となっております。次年度委員長をはじめ、たくさんのご出席をよろしくお願いいたします。



SONG TODAY

春が来た

童謡・唱歌 作詞:高野辰之,作曲:岡野貞一

春が来た 春が来た どこに来た

山に来た 里に来た

野にも来た

花が咲く 花が咲く どこに咲く

山に咲く 里に咲く

野にも咲く



横浜西ロータリークラブへメーカーアップ バナー交換

井上会員 榊会員



来る 2025 年ロータリー国際大会でノーベル賞受賞者が講演

平和と女性の権利を推進するイエメンのジャーナリスト、タワックル・カルマンさんが登壇

アラブ世界出身で初めてノーベル平和賞を受賞したタワックル・カルマンさんが、6月21日～25日にカルガリー（カナダ）で開催される2025年ロータリー国際大会で講演します。民主主義と女性の権利拡大を支持する活動を行ってきたカルマンさんは、度重なる迫害と投獄に耐えてきました。

2011年ノーベル賞受賞者を発表したノルウェー・ノーベル賞委員会のトルビョルン・ヤグラン委員長は、カルマンさんについて次のように述べています。「アラブの春以前、そしてその最中における最も厳しい状況下で、カルマン氏はイエメンにおける女性の権利と民主主義のために主導的な役割を果たしてきました」。カルマンさんは、エレン・ジョンソン・サーリーフさん、レイマ・ボウィさんと共にノーベル平和賞を受賞しました。



ジャーナリストであり人権活動家でもあるカルマンさんは、2007年から2011年にかけて、イエメンのアリー・アブドラー・サーレハ大統領の圧政に対して数多くの抗議活動を組織し、「革命の母」や「鉄の女」という異名を得ました。2005年には「束縛のない女性ジャーナリスト (Women Journalists Without Chains)」という組織を設立し、ジャーナリストの育成、メディアの自由を守る活動、女性の権利の促進に取り組んできました。

2023年のミュンヘン安全保障会議で、カルマンさんはこう述べています。「『女性の権利』とは、民主主義、表現の自由、統治者を選ぶ自由を意味します」。また、西側諸国の政府が中東における反革命運動を支援していることが、同地域の民主化運動を弱体化させていることを指摘しました。

カルマンさんは平和革命青年評議会 (Peaceful Revolutionary Youth Council) も設立しており、2010年代初頭のアラブの春運動の際には、暴力ではなく平和的な対話を呼びかけ、シーア派とスンニ派のイスラム教徒の和解に尽力しました。イスラム教はほかの宗教と平和的に共存すべきであり、女性が社会のあらゆる分野で積極的に参加するうえでイスラム教は障害にはならないと信じています。

カルマンさんは、『TIME』誌の「歴史上最も反抗的な女性」17人のリストに名を連ね、2011年には「Women of the Year」(今年の女性) 100人にも選ばれました。『Foreign Policy』誌では「世界の思想家トップ100」に選ばれています。さらに、タワックル・カルマン財団を通じてイエメンで学校の建設、貧困との闘い、医療支援など、多岐にわたる社会貢献活動を行っています。

今大会の講演者ラインアップから、もう一人ご紹介します：

スコット・サイモン (米国公共ラジオ放送司会者)

サイモンさんは、米国公共ラジオ放送 (NPR) の「ウィークエンド・エディション・サタデー」と朝のニュースポッドキャストの司会者として知られています。5大陸で取材を行い、ピーボディ賞やエミー賞など、米国の放送業界で主要な賞を数多く受賞してきました。彼のエッセイは「一貫して思慮深く、優雅で、挑戦的」と評され、ピーボディ特別賞も受賞しています。

これまでに10回の戦争を報道し、特にエチオピア内戦と飢餓に関する報道で大統領飢餓撲滅賞を受賞しました。また、PBS (米国公共放送サービス) の特別番組の司会を務め、BBCと共同でPBSの報道番組「ミレニアム2000」の共同司会も務めました。さらに、BBCでは「Eyewitness」シリーズや米国報道陣特集の司会を担当しました。著書には、ニューヨーク・タイムズ紙のベストセラーとなった『Unforgettable: A Son, a Mother, and the Lessons of a Lifetime』のほか、『Baby, We Were Meant for Each Other』をはじめ、『Home and Away: Memoir of a Fan』、小説『Pretty Birds』、『Windy City』などがあります。名誉学位も数多く授与されています。